

学術研究船「白鳳丸」
令和 6 年能登半島地震に関する緊急研究航海概要

実施する主な研究計画は以下の通りになっています。

●令和 6 年能登半島地震に関する白鳳丸緊急航海（仮）

日程：令和 6 年 2 月下旬～3 月中旬（現地調査期間 10 日間程度、回航含め 14 日程度、新潟出港－横須賀入港を予定しているが変更もあり得る）

研究代表者：朴進午（TEL:04-7136-6006 e-mail: jopark[at] aori.u-tokyo.ac.jp）

*e-mail アドレスの[at]は@に変換して下さい。

海域：能登半島沖

実施目的および内容：2024 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震（M7.6）とそれに伴う津波の発生メカニズムを解明する上で、震源断層の構造と物性を把握することは最も重要である。本緊急研究航海では、マルチチャンネル地震探査を実施し、震源断層の高分解能イメージングと空間マッピング、地震発生に影響した間隙水圧などの物性推定を目指す。また、マルチチャンネル地震探査データと地殻応力場データなどを組み合わせ、今回の震源断層を含む海底活断層の活動性を評価する。